

令和7年度「冬の労災をなくそう運動」点検表(陸災防山形県支部版)

点検事業場名： _____

点 検 項 目		点検結果	備 考
最 重 点 実 施 事 項	「冬の労災をなくそう運動」について労働者に対し、周知しているか。		
	気象情報を迅速に把握し、事業場内で共有する体制をとっているか。		
	点呼時、運転者に対し気象状況等について伝達するとともに、異常気象時の連絡、適切な指示を行うための体制が確立されているか。		
	転倒対策として、マップ作成するなど、転倒危険個所の「見える化」により、視覚による注意喚起を図っているか。		
	転倒の恐れのある通路、作業場に対し融雪剤の散布、融雪マットの設置、立ち入り禁止措置等の対策は行っているか。		
	屋外階段には滑り止め等の対策を行っているか。		
	靴底がすり減っていないか等の点検し、滑りにくい履物の使用を行っているか。		
	上着やズボンなどのポケットに手を入れたまま、歩行しないよう指示しているか。		
重 点 実 施 事 項	点呼時、車両の運行前点検、運転者の健康状態の把握、冬の携行品（タイヤチェーン等）の確認等、確実に実施しているか。		
	冬道の安全運転5則の周知、実施を行っているか。		
	タイヤチェーンの装着を早めに行うよう指導しているか。		
	異常気象が予測される場合の対策として、連絡体制、携行品（水・食料等）、運行計画等の適切な指示を行っているか。		
	雪下ろし作業に関して、あらかじめ作業場所や作業手順を定めているか。		
	軒先からの落雪のおそれのある場所は、立ち入り禁止措置を行っているか。		
	雪下ろし作業にあたっての昇降設備は適切なものを使用しているか。		
	バン車、ウイング車の屋根の除雪を行う際は、墜落防止器具等を使用するなど、転落防止措置を講じているか。		
	荷主先で荷役作業を行うときは、あらかじめ、作業方法等について荷主と打ち合わせを行っているか。		
	荷主先では転倒の恐れのある通路などの対策、立ち入り禁止措置等の対策は行なわれているか。危険個所の注意喚起は行われているか。問題ある場合、荷主に要請しているか。		